

ポーラ美術館

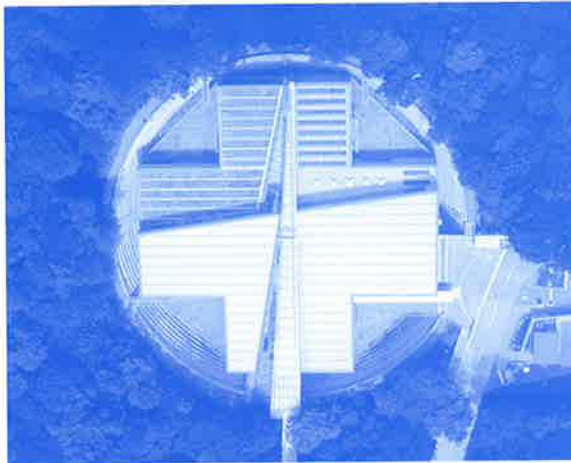
建築主：株式会社 ポーラ化粧品本舗 井上定利
 設計者：株式会社 日建設計 浅野美次、山本 裕、石田大三
 施工者：株式会社 竹中工務店 黒崎信之

免震化した経緯及び企画設計等

本建物は、ポーラグループのオーナーが長年収集したコレクションを展示・収蔵する美術館である。敷地はブナやヒメシャラが群生する富士箱根伊豆国立公園内にあり、この自然と共存すべく建物高さを8mに抑え、開発範囲を直径76mの円内に収める計画とした。美術品を地震被害から守るとともに、建物中央部にアトリウムとガラストプライトを設けて開放的な空間を演出すべく建物全体を免震構造とした。

技術の創意工夫、新規性及び強調すべき内容等

建物の大部分を地下に収め、かつ基礎免震構造を実現するために、下部構造体を擁壁と基礎スラブが一体となったすり鉢形状とし、これに上部構造体を収める断面計画とした。すり鉢形状に合わせて上層ほど広がる建物形態を、井桁上に配置したメイントラス架構とこれらの間に架け渡した外周サブトラス架構で支持する計画とした。メイン・サブトラス架構を利用して積層ゴム数を最小限に留めることで長周期化を図り、高い免震性能を実現した。免震構造により地震力が低減され、メイン・サブトラス架構が地震時水平力を負担することで、内部架構は地震力から解放され、建物を貫くガラストプライトと3層吹き抜けのアトリウム、展示室及びロビーの十字柱を実現した。



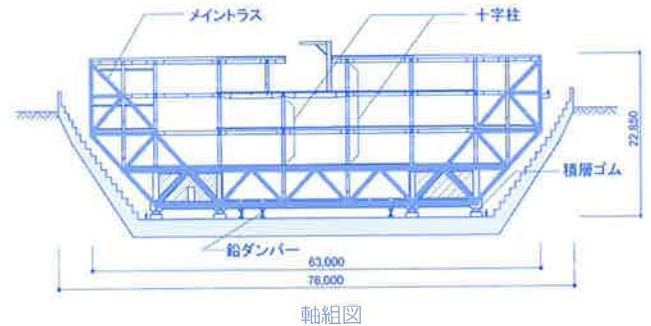
上空写真 (撮影：石黒 守)

建築概要

建設地：神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山1285
 建築主：ポーラ美術振興財団
 設計：株式会社 日建設計
 施工：株式会社 竹中工務店
 竣工：2002年5月
 建築面積：3,389.04㎡ 延床面積：8,098.04㎡
 階数：地上2階、地下3階、高さ：平均地盤面+8m
 構造種別：鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造

選評

箱根の樹林に囲まれ、まるで樹海に浮いているように計画されている。敷地をオープンカットし、底盤に免震を設け、そこから全体的に大きなキャンティレバーで持ち上げている。地形が複雑な自然環境と現代美術館をどう調和させるかというテーマに対し、大きなインパクトのある造形とあわせ、構造的にも計画的にも優れた解を示していると言えよう。難をいえばオープンカットしたプレキャストの擁壁の意匠がもう少し工夫できなかったのか。あるいは表面の緑化は考えられなかったのかという思いはあるが、透明感と空間のダイナミズムを感じられる。多くの人々の来館がその美しい建築を支持していることを証明している。美術品の保護のためということはもちろん、免震採用の大きな動機に違いないが、免震による構造的なスマートさ、シャープさがデザイン的に昇華されている点は、従来の美術館免震とは格段の違いを見せている。既に村野藤吾賞などの多くのデザイン賞を受賞しているが、構造的な提案も優れており、本賞受賞作としてふさわしいと評価された。(仙田 満)



アトリウム (撮影：石黒 守)